会社案内

商品案内　釉薬・呉須・色絵具

窯業資材製造販売

株式会社 深海商店

GREETING

弊社の製品は、創業以来 有田・波佐見地区を中心に遠くは海外まで多くの窯元様にご愛用頂き、多大な信頼を頂いております。陶磁器用絵具の製造工程の一部においては、石臼摺りを用いており、この石臼摺りで摺られた絵具は、焼物の生地に大変描きやすいとご好評を頂いております。原料にも天然鉱物を使用し味わい深い呉須となっております。ぜひ一度ご使用いただき他の顔料メーカー様との違いをご体感ください。

代表取締役社長　深海睦子

染付芙蓉手花鳥文皿

有田焼の歴史とともにある深海商店

有田焼の成り立ちと深海家の関係

深海家は、豊臣秀吉に朝鮮半島から連れてこられた朝鮮陶工の一族です。来日当初、深海家を率いていたのは深海宗伝ですが、1618年に死去しました。有田町で作陶に適した良質の陶石が発見されたため、宗伝の妻である百婆仙(ペクパソン)は、一族を伴って武雄市から有田町に移住します。そして、有田焼の礎を築き上げます。深海家は、百婆仙の死去後も、代々有田の地で作陶を続けました。

◀有田皿山の陶磁器創始期における渡来陶工の有力な指導者、百婆仙(ペクパソン)の法塔

株式会社深海商店の創業と現在

株式会社深海商店の主な事業内容は、陶磁器用絵具・釉薬製造販売です。深海家は不遇の時代を過ごし作陶をやめましたが、深海宗伝・百婆仙の子孫である深海辰治が先祖同様有田焼に関わり続けるために創業ました。現在も、有田焼の発展のために日々奮闘しております。

HISTORY OF FUKAUMI　沿革

- 14世紀末　李朝にて白磁が焼き始められる
- 15世紀前半　中国で染付(青華白磁)が焼き始められる
- 1592-98年　朝鮮出兵により、深海家をはじめ朝鮮陶工が日本に渡来
- 1616年頃　有田で磁器が焼き始められる
- 1647年頃　初代酒井田柿右衛門が磁器への赤絵付けに成功

※ヨーロッパでは、有田焼より伊万里焼の名称が有名です。これは、日本からヨーロッパに輸出される時に、有田で焼かれた陶磁器が伊万里の港から長崎経由で輸出されたことに由来しております。

400年の歴史と伝統から生まれたぬくもりの色

唐呉須二号

会社概要

社　名：株式会社深海商店
創　立：1961年6月10日
代表者：代表取締役社長　深海睦子
所在地：佐賀県西松浦郡有田町赤坂丙2351番地223

事業内容

- 陶磁器用絵具・釉薬製造販売
- 陶磁器用焼石膏販売
  （睦化学工業株式会社代理店）
- 陶磁器用窯用棚板販売
  （NGKキルンテック株式会社代理店）

世界を魅了する有田焼の起源

特製ルリ三号

有田から始まった日本磁器の歴史

1592～1598年頃に豊臣秀吉が朝鮮に出兵した時に朝鮮半島から多くの陶工が日本に渡来し、朝鮮の白磁技術が伝来します。そして、渡来した陶工達が1616年頃に日本で初めて磁器を焼きます。これが有田焼の始まりだと言われています。有田焼は白磁の素地にコバルトを主原料とする呉須を使った染付で有名です。染付技術の源流は、中国の景徳鎮のものです。（残念ながら、景徳鎮の技術は1966~77年に起きた文化大革命によって廃れてしまいました。）有田焼は朝鮮半島の白磁技術と景徳鎮の染付技術が融合し、創り出されたものです。尚、日本での磁器の生産技術は、全て有田で確立したものです。
ヨーロッパで有名なマイセンの起源は、有田焼を心から愛するアウグスト強王がヨハン・フリードリッヒ・ベトガーに有田焼と同様の磁器を製作するよう命じ、1709年にヨハン・フリードリッヒ・ベトガーが磁器を焼いたことだと言われています。

1650年　オランダ連合東インド会社により磁器が輸出開始（※欧州への輸出開始は1659年）

1709年　アウグスト強王に有田焼と同様の磁器の製作を命じられたヨハン・フリードリッヒ・ベトガーが白磁の製作に成功

1867年　第2回パリ万国博覧会で有田焼が絶賛される。当時、ジャポニズムがヨーロッパ全土における一大潮流となる

1876年　深海墨之助が当時役員を勤める合本組織香蘭社としてフィラデルフィア万博に「年木庵喜三」を出品し、金牌賞状を受賞

1897年　深海竹治(宗竹)が帝室技芸員に内定

1961年　深海辰治が株式会社深海商店を創業

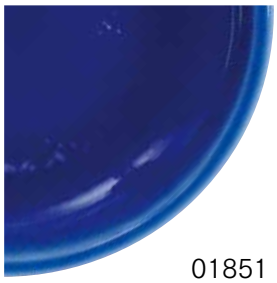
1966－77年　中国で文化大革命が起こり、景徳鎮の窯が破壊

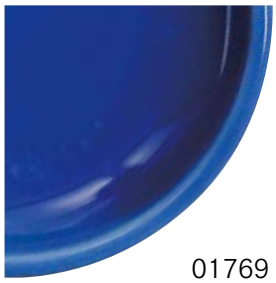
1980年　深海英男が2代目代表取締役社長に就任

1996年　深海良治が3代目代表取締役社長に就任

2015年　深海睦子が4代目代表取締役社長に就任

釉薬

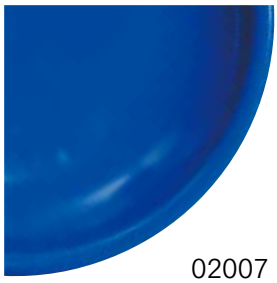

01851
濃紺灰釉

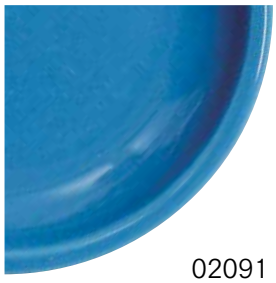

01769
トルコルリ№2

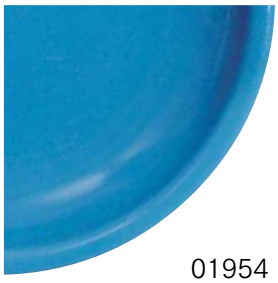
02443
№29525ライラック

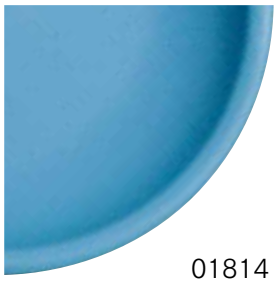
01777
流れルリ

01779
ブルー流れ曜変

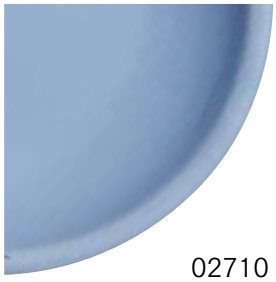

02007
ブルーマット

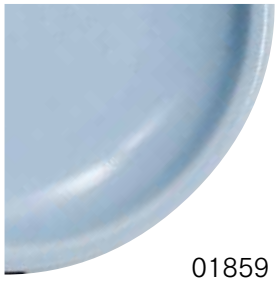

02091
ライラックブルー№2

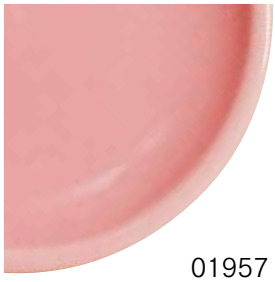

01954
126トルコ青マット

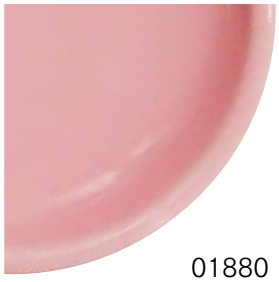

01814
Pグリンマット

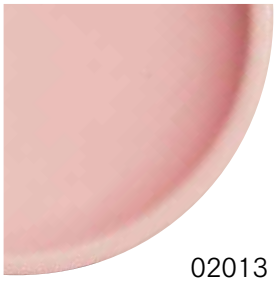
02090
ライラックブルー


02710
30530ブルーグレーマット

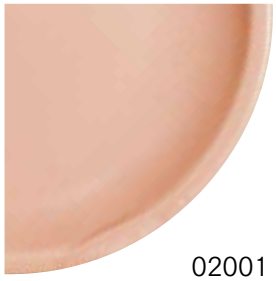

01859
ライラック灰釉


01957
135ピンクマット


01880
ハーフマット


02013
14470ピンクマット

02713
30530ピンクマット


02001
6526チタンピンクマット

02137
30628赤チタンマット

02210
ダークオレンジマット

01308
オレンジ釉

01314
Cオレンジ釉

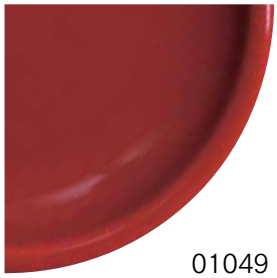
01309
オレンジ釉

01950
126赤マット

01250
120赤釉

01257
赤釉

01811
ハーフ赤マット


01049
赤紫釉

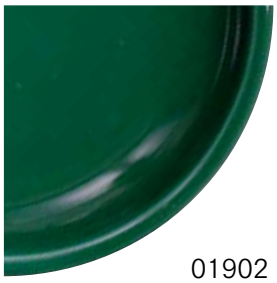
02024
花赤マット

02118
＃201マロン釉(酸化)

02124
赤灰釉

01300
織部釉(酸化)

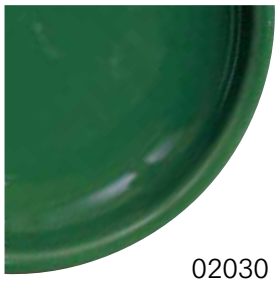
01301
織部釉No.2(酸化)


01902
0036ピーコック釉

02127
8320ピーコック灰釉

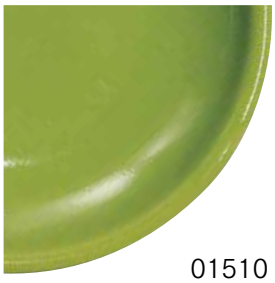
02048
青銅マット(酸化)

01787
29919織部風なまこ釉


02030
135薄グリン半マット

02595
30618きぬた釉

01398
黄緑No.6


01510
28627濃グリン釉

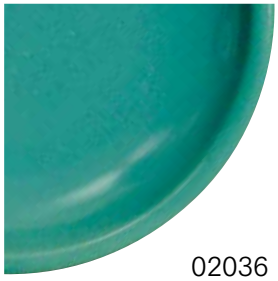
01111
110906ヒワ釉

01072
2655グリン釉

01395
黄緑釉No.3

01511
28628黄緑釉

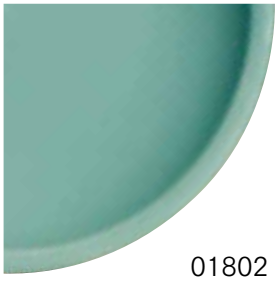
01906
4800ヒワ釉


02036
Pグリン半マット

02712
30530トルコグリンマット

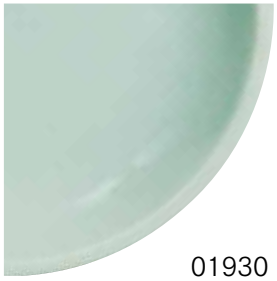
02012
153青草マット

02044
トルコ青釉(酸化)


01802
トルコグリンマット

02123
グリンワラ灰釉

01616
一号青磁No.2


01930
本青磁

01620
青白磁No.19723

01823
灰釉1135

01831
灰釉No.2

01731
土灰二号

01242
亜鉛華マット

01936
白マットNo.3

01937
白マットNo.5

釉薬

深海商店Webサイト
〈釉薬〉

01868
765灰黒マット

01480
絹黒釉

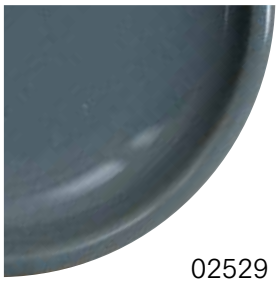
01801
紺黒マット

02125
黒ワラ灰釉

02586
30512グレー釉

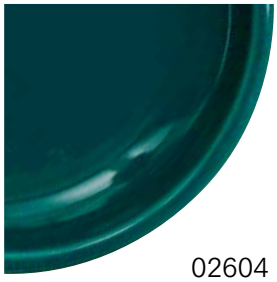
01474
マンガン結晶釉

02136
鉄粉入1126灰釉


02529
4100グレー釉

02585
30511グレー釉

01084
薄グレー釉


02604
青緑釉

01805
18608ナマコ釉

01380
黄瀬戸釉No.1

01595
文人茶釉

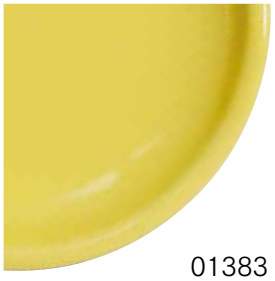
01761
11728ナマコ釉(酸化)

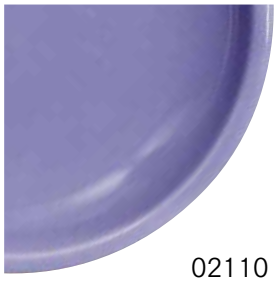
01563
ヤマブキ釉

02016
153黄マット

01385
黄釉

01567
プラセオ黄釉(酸化)

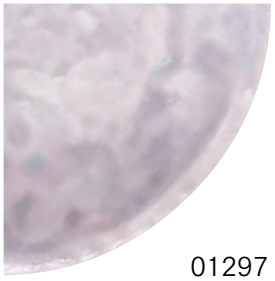

01383
4800黄釉

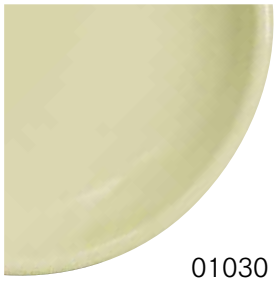

02110
若紫釉

01134
マロン灰釉

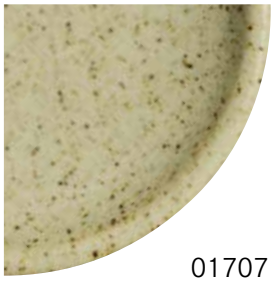
02027
マロンマット

01815
パープル釉


01297
赤紫伊羅保


01030
アイボリー釉

01706
鉄粉入マットNo.1


01707
鉄粉入マットNo.2

01709
鉄粉入マットR(酸化)

01997
そばマット

呉須・色絵具

深海商店Webサイト
〈呉須〉

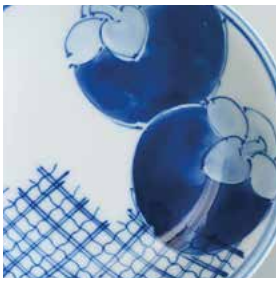
深海商店Webサイト
〈色絵具〉

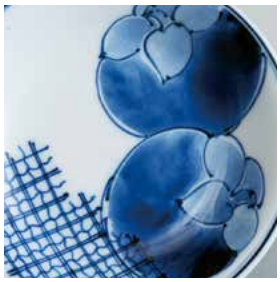
00008　マルハルリ

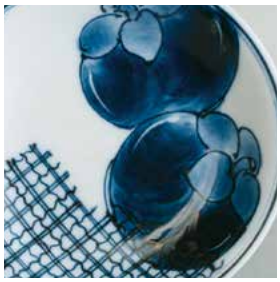
特製ルリ三号

00140　すじゴス

00026　唐呉須一号


00020　青二号


00029　唐呉須五号


00027　唐呉須二号

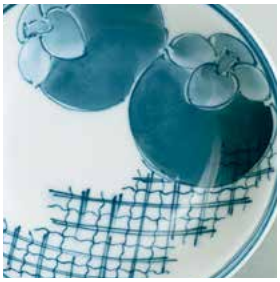
00022　特別古代

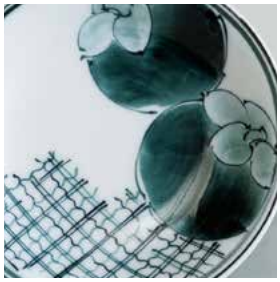
00023　旧古代

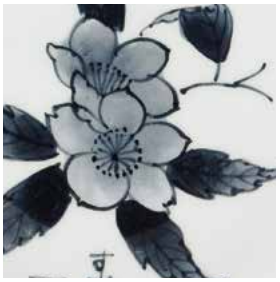
00032　京古代二号

00033　京古代三号

特製古代


00055　古代三号No.3


00348　三号黒No.2


00041　すみゴス

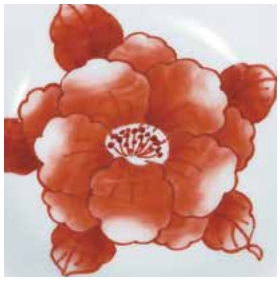
00071　特茶

00358　ライトブラウン

00357　オレンジC

00248　からしゴス

00356　イエローD

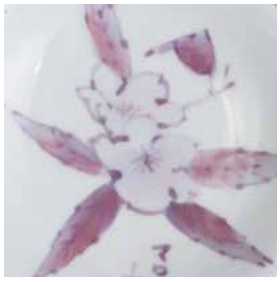

00249　赤唐ゴスNo.3

00348　赤マロン

00365　赤No.5

00064　正円子

00062　新ピンク


00063　マロン

00380　紫

00070　ライラック

00172　トルコ青

00810　イエローグリーン

深海商店
Webサイト

窯業資材製造販売

株式会社 深海商店

〒844-0024
佐賀県西松浦郡有田町赤坂丙2351番地223
TEL.0955-42-2343　FAX.0955-42-6262
https://enogu-fukaumi.co.jp/

深海商店　検索